

7月18日

テーマ：「<sup>さかな</sup>魚に飲まれたヨナ」

聖書箇所：ヨナ1章1節～2章10節

◆今日のみことば

主は、<sup>おお</sup>大きな<sup>うお</sup>魚を<sup>そな</sup>備えて、ヨナをのみこませた。ヨナは、<sup>みつ</sup>三日<sup>かみ</sup>三晩、<sup>うお</sup>魚の<sup>はら</sup>腹の中にいた。  
ヨナ1章17節

◆メッセージ

ヨナさんは、<sup>かみ</sup>神さまから「ニネベの<sup>まち</sup>町へ行って、私が言うことを<sup>まち</sup>町の人たちに<sup>つた</sup>伝えなさい。」とたのまれました。けれどヨナさんは、その<sup>まち</sup>町には行きたくなかったので、ちがう<sup>まち</sup>町へ行く<sup>ふね</sup>船に乗りました。ところが、<sup>うみ</sup>海は<sup>おお</sup>大あらしになってしまい、ヨナさんたちが乗った<sup>ふね</sup>船が沈みそうになりました。ヨナさんは、あらしの<sup>げんいん</sup>原因が<sup>かみ</sup>神さまに<sup>したが</sup>従わなかった<sup>じぶん</sup>自分にあることに<sup>き</sup>気づき、あらしを<sup>しず</sup>静めるために、「私を<sup>うみ</sup>海に<sup>な</sup>投げ込んでください。」と<sup>ふね</sup>船に乗っていた<sup>ひと</sup>人たちにたのんで、<sup>うみ</sup>海に<sup>ほう</sup>放り<sup>な</sup>投げしてもらいました。すると、ふしぎ、ふしぎ。<sup>おお</sup>大あらしがやんで、<sup>うみ</sup>しずかな海にもどりました。

ヨナさんは、どうなったのでしょうか。ブクブクブク、ヨナさんのからだは<sup>うみ</sup>海の中に沈み、「もう、だめだ。息ができない。」と思ったとき、<sup>なに</sup>何かがすごいいきおいで、<sup>ちか</sup>近づいてきました。そして、あつという間に<sup>ま</sup>真っ暗な<sup>なか</sup>中からだごと、すいこまれてしまいました。そう、ヨナさんは、<sup>おお</sup>大きな<sup>さかな</sup>魚に<sup>の</sup>飲み込まれてしまったのです。3日の<sup>あいだ</sup>間、ヨナさんは<sup>さかな</sup>魚のおなかの<sup>なか</sup>中で過ごすことになりました。ヨナさんは、<sup>ま</sup>真っ暗やみだけど<sup>いき</sup>息もできるし、<sup>しんぱい</sup>おぼれる心配もなく、<sup>うみ</sup>海の中より<sup>あんぜん</sup>安全なお<sup>さかな</sup>魚のおなかの<sup>なか</sup>中で、<sup>かみ</sup>神さまによって<sup>たす</sup>助けていただいたのです。そしてその3日間は、<sup>かかん</sup>神さまの<sup>ことば</sup>言葉に<sup>したが</sup>従わなかった<sup>じぶん</sup>自分の<sup>つみ</sup>罪を認め、<sup>く</sup>悔い<sup>あらた</sup>改めるための<sup>じかん</sup>時間でもありました。



<sup>おお</sup>大きな<sup>さかな</sup>魚を<sup>かみ</sup>神さまがヨナさんのために<sup>ようい</sup>用意してくださって、この<sup>さかな</sup>魚のおかげでいのちが<sup>たす</sup>助かりました。ヨナさんは、<sup>かみ</sup>神さまにたのまれたことをいやだといってにげてしまいましたが、<sup>かみ</sup>神さまはヨナさんのことを<sup>まも</sup>守ってくださいました。この<sup>かみ</sup>神さまの<sup>たす</sup>守りと<sup>たす</sup>助けは、私たちにも<sup>まいにち</sup>毎日与えられているものなのです。ですから、<sup>かみ</sup>神さまの<sup>み</sup>御言葉に<sup>よろこ</sup>喜んで<sup>したが</sup>従いましょう。また、<sup>まちが</sup>間違いに<sup>き</sup>気がついた<sup>とき</sup>時には<sup>すなお</sup>素直にあやまり、<sup>かみ</sup>神さまの<sup>ことば</sup>言葉に<sup>したが</sup>従っていきましよう。<sup>かみ</sup>神さまは<sup>ま</sup>待っていてくださいます。

◆お祈り

「いつも<sup>かみ</sup>神さまが<sup>まも</sup>守ってくださいると<sup>しん</sup>信じて、<sup>かみ</sup>すなおに<sup>したが</sup>神さまに<sup>せい</sup>従う<sup>かみ</sup>生活ができますように。」

(水戸福音キリスト教会伝道師 小林浮早子)